

1月運委山行

前武尊

1月24日(日) ◎, ⊕

L.西川, 長谷川, 加藤, 今井, 高野吉, 鈴木, 蔵田, 手塚

高橋真, 馬場, 作野, 陶山, 橋本, 菅沼, 茅崎

15人の人々が行列を作りて登ったのです。前武尊スキー場のリフト上部からほぼ稜線沿いにきつかり2時間。ブッシュもけ、こうでていたようだ、でも昨夜来の新雪が膝位まで積もっていて帰りが楽しめと、全員快調なペースで登ったのです。シールがはがれたり、しめ具を調整したり、すこけて雪まみれになったりと、人数が多ければそれなりにあれこれあったりする訳ですが、「船頭多くしてスキー山に登る」の謡もあるとか、人数が多ければそれなりに何でも解決してしまおうものです。山頂では、ヤマトケルのミコトとかの銅像の膝あたりから上がりしっかり見えています、雪の少なさを思い知らされる。吹きさらしの山頂は早々に辞して、お待ちかねの滑降に入る。前半は、期待通りのすばらしい新雪をつかの間堪能し、後半は、ブッシュの合い間にぬうようにして、それぞれがそれぞれの滑りをそれなりに楽しめた事と思う。時間や金銭面等々考えるとちょっと中途半端な山行だな、を感じましたが、シーズン初めの足ならし、を感じて、手、いいかな。(手塚記)

9:30 前武尊スキー場リフト上 — 11:35 前武尊 — リフト上
12:05 12:40

感想

高野吉雄

クラブに入会以来初参加の山スキー、2~3日前からの天気予報は、あまりよくなく少々心配。当日は、小雪の中、たいして荒天でもなく、天候はまあなんとかといった所。雪質も良く、でも2時間あまりのシール登行は、少々まいりました。途中ストックリングがとれたりしましたが、先輩の助けてビウにかきりぬけました。下りは、楽しむというより、ビウにかこうにか滑りありでくる(転びあります?)でした。私のスキーレベルでは、楽しく滑るという前段階で、次は雪の状態の良い春がいいですね。